

発明の名称	免疫細胞刺激活性を有する機能ペプチド(特許第 5311117 号 米国特許 US7893199)	
学内発明者	若松 馨(理工学府)	
技術分野	医薬・バイオ	IPF18-025JP,US
発明の概要	ゲノム配列やタンパク質データベースから、活性を持ちしかも生体内で機能しているペプチド配列を予測する方法を確立し、活性を持つと予測したペプチドを実際に化学合成し、その生体機能を評価することで、44種の新規好中球活性化ペプチドを同定した。	
説明図		機能ペプチドの予測・同定手順。
ポイント	効率的な機能ペプチド同定手段を提供し、好中球などの免疫細胞を活性化するペプチド、あるいは免疫細胞を強く活性化することでその受容体を脱感作し、結果的にその受容体活性化を阻害するペプチドを提供する。さらにはペプチドがその受容体と結合したときにとる高次構造が相同である機能ペプチドの累積投与法を提供する。	

発明の名称	骨格筋検査用キット及び骨格筋検査方法(特許第 4150796 号)	
学内発明者	村上 徹(医学系研究科) 依藤 宏(医学系研究科)	
技術分野	廃用性萎縮、筋ジストロフィー、神経原性筋萎縮などの疾患判別	IP16-053
発明の概要	骨格筋の萎縮の程度を正確に検査するためのキットを提供する。	
説明図		懸垂2週間後の筋の横断像の3例を示す図(写真)。いずれも蛍光標識ファロイジン、抗遅筋ミオシン抗体及びDAPIによる染色結果である。矢印は中心性病変がなく遅筋ミオシンを持たない筋線維を示し、矢印は中心性病変がなく遅筋ミオシンを持つ筋線維を示す。
ポイント	本発明のキットを用いることにより、骨格筋の萎縮のステージを正確に検査することができる。これにより、治療方針の決定や治療効果の確認が容易になる。また、廃用性萎縮、筋ジストロフィー、神経原性筋萎縮などの疾患を判別することもできる。	